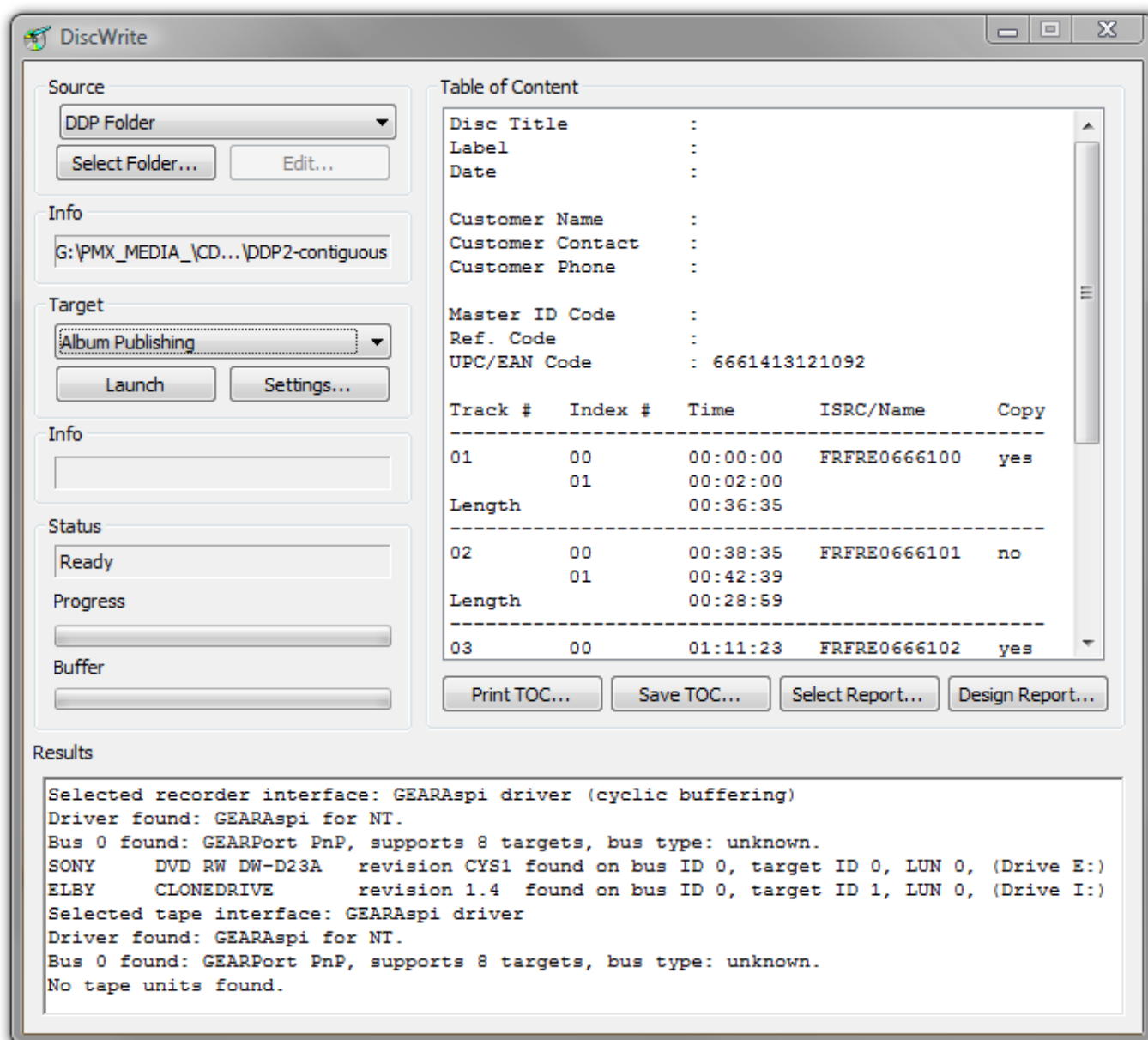


DiscWrite (ディスクライト)

DiscWriteは、Pyramix Virtual Studioのバンドルでインストールされるアプリケーションです。

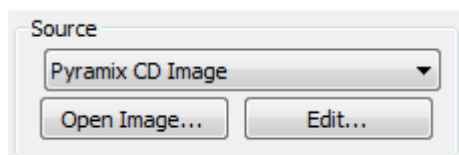
CDイメージをCD-Rディスクへ書き込んだり、DDPイメージファイルをDDPフォルダやDDPテープドライブへ書き込んだりするためのアプリケーションです。



Source

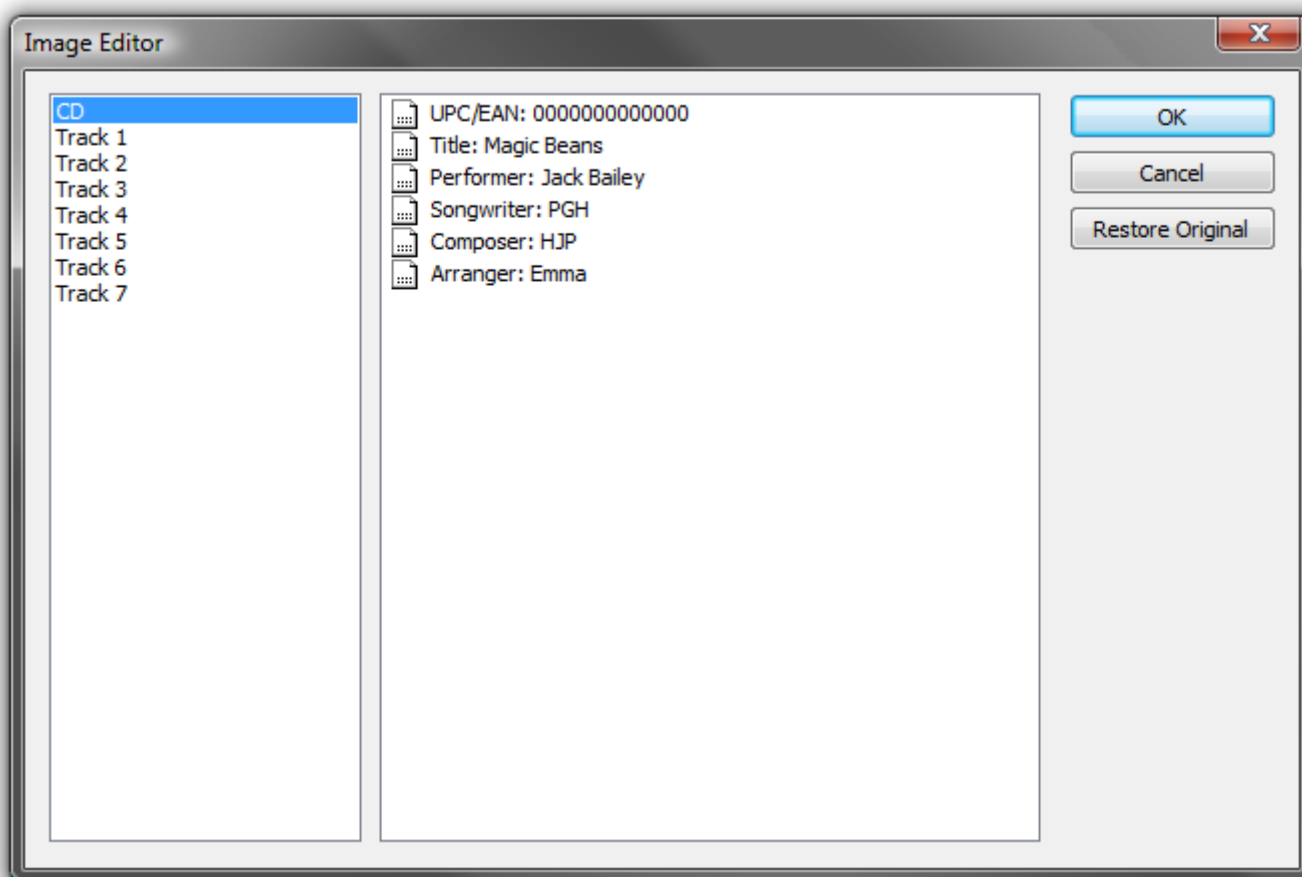
Pyramix CD Imageのドロップダウン・メニューでは、新たにCD-RやDDPファイルを作成するためのソースとなるCDイメージファイル、インストールされているオプティカルドライブ、Umaticテープ、既存のDDPマスターファイルなどを選択できます。

Source - Pyramix CD Image



SourceにPyramix CD Image選択すると、Open Image...ボタンが表示されます。Open Image...ボタンをクリックするとファイル参照のダイアログが開くので、任意のCDイメージファイルを選択することができます。

Edit...ボタンをクリックすると、Image Editorダイアログが開きます：

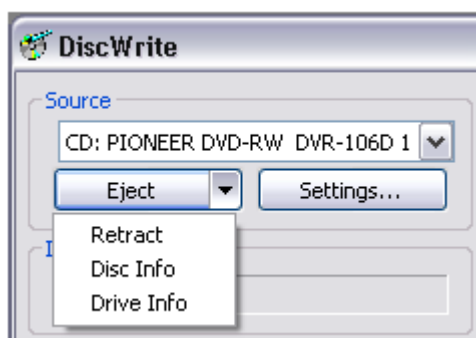


CD-Textは自由に編集できます。

Restore Original

ダイアログ内で変更したパラメーターを全て元に戻します。

Source - CD Drive



ソースにCD:を選択した場合、**Eject**ボタンと**Settings...**ボタンが表示されます。

Eject

選択したソースドライブのトレイを開きます。**Eject**ボタンの右端からは、以下のドロップダウン・メニューを選択できます。

Retract	選択したソースドライブのトレイを閉じます。
Disk Info	ディスク情報を読み込んで Results ボックス内に表示します。
Drive Info	ドライブ情報を取得して Results ボックス内に表示します。

Source - U-Matic Tape

Sony PCM-1630マスターテープをインポートすることができます。詳細は別章をご参照ください。

Info

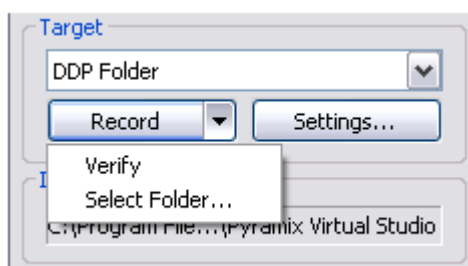
Infoの欄には、オプティカルドライブの読み込みスピードまたはイメージファイルの保存先パス情報を示します。

Target

Targetのドロップダウン・メニューでは、インストールされているCD-RまたはDDPドライブ、**DDP Folder**、**Album Publishing**のいずれかを選択することが可能です。

DDP Folder

ターゲットに**DDP folder**を選択した場合、**Record**ボタンの右端から以下のドロップダウン・メニューを選べます。



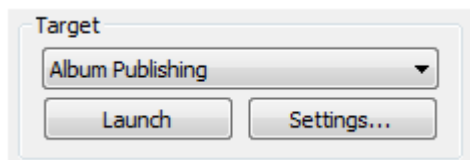
Verify	ベリファイを出力します。
Select Folder...	ブラウザを開いて保存先のフォルダを指定します。

Settings...

このボタンをクリックするとDDPの設定情報とオプションを含む**Settings**ウィンドウが開きます。

Album Publishing

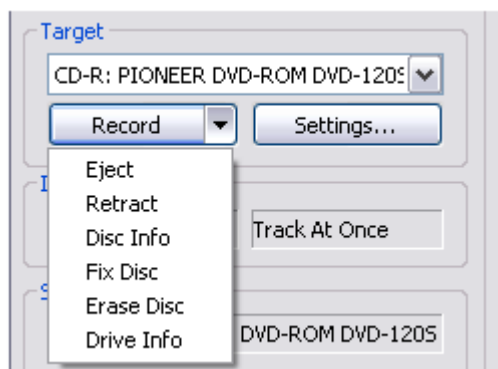
ターゲットに**Album Publishing**を選択した場合、**Record**ボタンは**Launch**ボタンに変わります。



Settings...ボタンをクリックすると、**Album Publishing options**のプロパティ画面が開きます。詳細は“**Album Publishing**”の章を参照してください。設定が完了したら、**Launch**ボタンでアルバムのエクスポートを開始します。

CD-R/CD-RW

ターゲットにCD-R (RW) を選択した場合、**Record**ボタンの右端から以下のドロップダウン・メニューを選べます。



Eject	選択したターゲットドライブのトレイを開きます。
Retract	選択したターゲットドライブのトレイを閉じます。
Disk Info	ターゲットディスクから情報を読み込み、 Results ボックス内に表示します。
Fix Disc	Track at Onceで書き込んだディスクをCDプレーヤーで読み込めるように必要情報を書き込みます。
Erase Disc	ディスクの内容を消去します
Drive Info	ドライブ情報を取得して Results ボックス内に表示します。

Settings...

この**Settings...**ボタンは、適切なオプティカルドライブまたはイメージファイルが選択されていないとグレーアウトします。**Settings...**をクリックするとSettingsダイアログボックスが開きます。セッションの必要に応じて設定を行ってください。通常はデフォルト設定のままで特に問題ありません。書き込み方式“**CD Write Method**”の設定は“**Disc At Once**”が設定されています。互換性の高い“**Disc-at-Once**”方式をご使用ください。

Record

Recordボタンをクリックするとレコーディング処理を開始します。進行状況などのレポートは**Results**ボックスに表示されます。

Info

Targetドライブの書き込み速度を表示します。DDPフォルダへファイルを書き込んでいる場合は、出力先のパス情報を表示します。また、現在の書き込み形式の設定（Track At OnceまたはDisk At Once）を表示します。

Status

レコーディング・デバイスの状態や処理状態を表示します。

Progress

レコーディングの進行状況をバーグラフで表示します。

Buffer

レコードバッファの状態を表示します。

Results

現在実行している処理についての状況など、様々な情報を表示します。

Table Of Content

TOCの詳細が表示されます。

Print TOC...

Print Optionsダイアログが開きます。プリンタ情報の設定とTOCの印刷が行えます。

Save TOC...

ファイル参照のダイアログが開き、TOCに名前を付けて任意のフォルダに保存することができます。

Select Report...

ファイル参照のダイアログが開き、TOCのレポート形式を選択することができます。

Design Report

Report Designerアプリケーションが開き、TOCのレポート形式を自分でデザインすることができます。

Note:

オプティカルドライブのメーカーが提供している最新のファームウェアやドライバをご使用ください。

CDテキスト

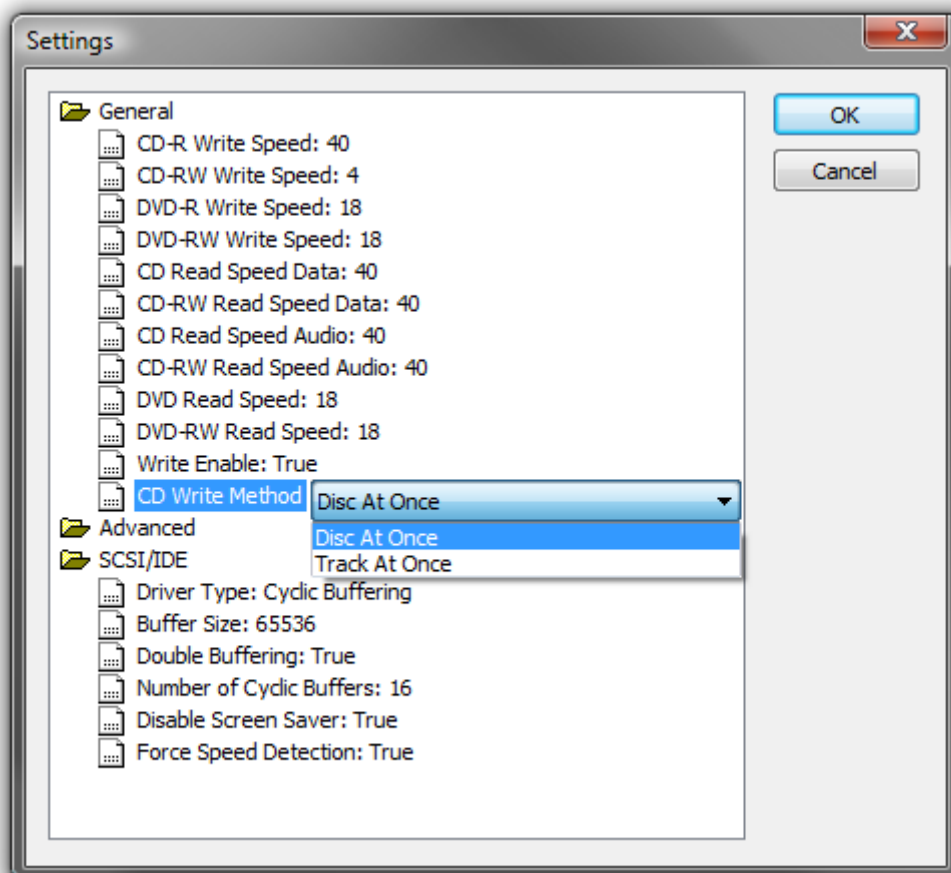
CDテキストは“ **Disc At Once** ”の書き込み方式のみに対応しています。

CD-Textの互換性を確認するには、**Target**エリア内で適切なドライブを選択し、**Record**のドロップダウン・メニューからDrive Infoを選択します。**Results**ボックス内に表示された情報をスクロールして、**Supported write methods:**セクションで“ **Writing CD-Text (audio, disc at once): Yes.** ”となっていることを確認してください。

CD-Rを焼く

DiscWriteを起動します。(通常Pyramixをインストールすると**DiscWrite**アイコンがデスクトップ上に作成されます) **DiscWrite**でCD-Rを焼く前に、あらかじめCDイメージを作成しておきます。

1. **Source**セクションで**Open Image...**ボタンをクリックし、任意のCDイメージファイルを選択します。(.img , .pmi)
2. **Target**セクションのドロップダウン・メニューからCD-Rデバイスを選択します。
3. **Target**セクションの**Settings...**ボタンをクリックし、**CD-R Settings**ダイアログボックスを開きます。セッションの必要に応じて設定を行ってください。通常はデフォルト設定のままで特に問題ありません。書き込み方式“ **CD Write Method** ”の設定は“ **Disc At Once** ”が設定されています。



4. **CD-R Settings**で必要な設定を行ったら**OK**ボタンでウィンドウを閉じ、**Target**セクション内の**Record**ボタンをクリックするとCD-Rを焼き始めます。

DDPマスター

Note: 上記の例のとおり、PyramixはDDPマスターに対応しており、データロスなくコピー、変換、複製、チェック、アーカイブ、FTPへの送信などに利用することができます。

Red Bookとの互換

Red Bookとの互換性を確保するには、Settings...を開いて"File Option For CD"の値を"**Contiguous**"に設定しなければなりません。

CDコピー

ハードウェアの用意があれば、ソースのCD-ROMドライブからターゲットのCD-R/RWドライブへCDを直接コピーすることができます。

TOCs

Print TOC...	現在のTOC情報を選択しているレポートフォーマットでプリントします。
Save TOC...	現在のTOC情報に名前を付けて任意のフォルダにテキスト形式(.txt)で保存します。
Select Report...	ファイル参照のダイアログが開き、TOCのレポート形式(*.lst)を選択できます。
Design Report...	Report Designer が起動します。マニュアル(英語版)はオンラインでダウンロード可能です。 http://www.combit.net/en/list-label-downloads